

令和7年12月 日

富里市長 五十嵐 博文 様

富里市産業振興推進会議

会長 寒 郡 茂 樹

令和6年度富里市産業振興アクションプラン意見書の提出について

富里市産業振興アクションプランの令和6年度実績報告を受け、富里市産業振興推進会議として、別添「富里市産業振興アクションプラン意見書」を提出いたします。

令和6年度は、デフレ脱却の兆しが見え始め、大企業における賃上げや個人消費の回復が見られる一方で、建設業、農業を中心に慢性的な人手不足、エネルギーや食料品の輸入価格上昇による企業経営や家計の圧迫、温暖化を始めとした気候変動による農作物への影響など、様々な課題が残っており、経済回復の兆しを実感しつつも、構造的な課題への対応を問われる年となりました。

このような状況下において、富里市産業振興アクションプランに掲げる施策に係る取組として、本市の基盤産業である農業では、高温などの気候変動への対応を図るため、千葉県に先駆けて「夏季の高温対策支援事業補助金」を創設し、また、全国的に問題となっている有害鳥獣対策では、関係者との連携強化が図られており、これらは、農業生産の安定に大きく貢献しているものと思われれます。

また、商工業では、創業支援資金枠を新設し制度の拡充を図った「富里市中小企業資金融資制度」や、中小企業等経営強化法に基づく先端設備導入促進基本計画の更新等は、市内における創業者の創出と既存事業者の事業継続に大きく寄与していると思われれます。

さらに、観光業では、年間を通じて地域資源を活用したイベントの実施や、SNSを活用した魅力発信などにより、年間を通して賑わいを創出しました。

これらの取組は高く評価できるものです。その他の意見については、富里市産業振興アクションプラン意見書のとおりです。厳しい指摘等もありますが、今後の更なる発展を期待するものとして捉えていただけると幸甚です。

全体の総括としては、前述の状況下においても、目的達成のための事業が概ね実施されており、一定の成果が上がっていると認められます。

最後に、これまでの3年間の実績について、産業振興推進会議で評価を行っ

てきたところですが、次期産業振興ビジョンの策定に当たっては、激しく変化する社会・経済情勢を踏まえるとともに、これまでの産業振興推進会議の評価・意見を参考に現状や課題について検証を行い、市の産業振興の推進が図れる計画となるよう、策定作業を進めていただくようお願いいたします。